

彩の国エコアップ宣言

—環境負荷低減計画—

平成 19年 6月 6日

1 事業活動の概要

(1) 事業者名及び代表者名

鶴見製紙株式会社

代表取締役社長 里和永一

(2) 所在地

埼玉県鳩ヶ谷市南8-1-10

(3) 環境負荷低減主任者及びその連絡先

環境負荷低減主任者 川口 宏

連絡先 電話 048-283-3620 FAX 048-283-3664

(4) 事業の内容

| | | | | | | | |
|----------------|----|-----------|----|---|---|---|---|
| ※日本標準産業分類(細分類) | 名称 | 機械すき和紙製造業 | 番号 | 1 | 5 | 2 | 3 |
|----------------|----|-----------|----|---|---|---|---|

(5) 事業の規模

資本金:1052万円

生産量:34,159t/年

売上高:52億2千6百万円

従業員数:96人

(6) その他

・前年度の燃料等使用量の原油換算合計量 15,451 kℓ

・大規模小売店舗の場合 店舗面積 6,024 m²

2 環境方針

《基本理念》

鶴見製紙株式会社は、古紙の再資源化と地球環境・地域社会に配慮した事業活動を通し、循環型社会形成と地球の環境の保全、そして社会の継続的発展に貢献する。

《基本方針》

- 1, 当社の事業活動における総合的な環境負荷の低減
- 2, 環境マネジメントシステムの確立と継続的改善
- 3, 法的要求事項の遵守
- 4, 環境教育による意識向上
- 5, 環境方針の周知徹底

3 環境負荷の現状

(1) 環境保全の取組のチェック(『取組チェック』)の結果

| 項目 | CO ₂ ・NO _x | 廃棄物 | 大気・水質 | 輸送 | 化学物質 | 節水・水 |
|-----|----------------------------------|-----|-------|-----|------|------|
| 達成率 | 56% | 75% | 69% | 82% | 100% | 50% |

| 項目 | 製品開発 | 建築・開発 | グリーン購入 | 環境教育 | エコビジネス | その他 |
|-----|------|-------|--------|------|--------|-----|
| 達成率 | 100% | 80% | 67% | 65% | — | 50% |

(2) 環境への負荷のチェック(『負荷チェック』)の結果

① 必須項目

| 項目 | | 平成13年度 | 平成14年度 | 平成15年度 | 平成16年度 | 平成17年度 |
|----------------------|----------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| CO ₂ 総排出量 | t-CO ₂ /年 | — | — | — | 24,699 | 26,412 |
| 原単位() | | — | — | — | 0.7460 | 0.7290 |
| 項目 | | 平成18年度 | 平成 年度 | 平成 年度 | 平成 年度 | 平成 年度 |
| CO ₂ 総排出量 | t-CO ₂ /年 | 26,834 | | | | |
| 原単位() | | 0.7510 | | | | |
| 項目 | | 平成13年度 | 平成14年度 | 平成15年度 | 平成16年度 | 平成17年度 |
| 廃棄物処分量 | t/年 | — | — | — | 436 | 394 |
| 原単位() | | — | — | — | 0.0130 | 0.0110 |
| 項目 | | 平成18年度 | 平成 年度 | 平成 年度 | 平成 年度 | 平成 年度 |
| 廃棄物処分量 | t/年 | 280 | | | | |
| 原単位() | | 0.0078 | | | | |

※廃棄物処分量は、廃棄物等発生量から減量化量と再資源化量を差し引いた値を記入してください。

※廃棄物処分量について「自己排出分」と「受託処理分」がある場合は、両者の合計値を記入してください。

② その他の項目(任意)

4 環境への負荷の低減目標

(1) 生産量当たりの二酸化炭素排出量及び廃棄物排出量の低減

今後、生産量当たりの二酸化炭素排出量及び廃棄物排出量を着実に減らしていくことを目指し、2005年度から2009年度までの5年間で3%低減させることを当面の目標とする。

| | 2004年度 | 2005年度 | 2006年度 |
|---|--------|--------|--------|
| 生産量当たりのCO ₂ 排出量 (t-CO ₂ /t) | 0.746 | 0.729 | 0.751 |
| 生産量当たりの廃棄物処分量 (t/t) | 0.013 | 0.011 | 0.0078 |

(2) 当社では、環境負荷低減に向け、次の5項目について重点的に取り組みます。

| | 環境目的 | 担当部門 | 2005年度 数値目標 | 2006年度 数値目標 | 2007年度 数値目標 |
|---|-----------------------|------------------|-----------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|
| 1 | 機密文書類再資源化の推進 | 資源開発部 原料課 | 年間8,500 t以上 | 年間10,000 t以上 | 年間11,500 t以上 |
| 2 | 全社的節電活動 | 全部門 | 電気使用量 9.6kW/ケース以下 | 電気使用量 9.5kW/ケース以下 | 電気使用量 9.4kW/ケース以下 |
| 3 | 都市ガス使用量削減活動 | 製造部抄紙課 製造部原料課 | ガス使用量 2.2m ³ /ケース以下 | ガス使用量 2.15m ³ /ケース以下 | ガス使用量 2.1m ³ /ケース以下 |
| 4 | 工業用水の節水活動 (排水量の削減) | 製造部全体 | 工業用水使用量 8,000t/日以下 | 工業用水使用量 7,900t/日以下 | 工業用水使用量 7,800t/日以下 |
| 5 | スラッジの減量化活動 | 製造部全体 | スラッジ発生量 6.26kg/ケース以下 | スラッジ発生量 6.20kg/ケース以下 | スラッジ発生量 6.14kg/ケース以下 |

5 具体的な取組の内容

(1) ● CO₂排出量の削減

蛍光灯安定器、及び原料ポンプ等他動力機器へのインバーター導入による、高効率化による省エネを行う。また、蒸気配管に保温を行い断熱化による省エネを行う。

● 廃棄物対策

廃棄物脱水機の導入

再資源化の検討

(2)

| | 環境目的 | 担当部門 | 取組の内容 |
|---|-----------------------|------------------|--|
| 1 | 機密文書類再資源化の推進 | 資源開発部 原料課 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページによるPR活動 ・ 関連業者への働きかけ ・ 溶解スピードアップによる待ち時間短縮 |
| 2 | 全社的節電活動 | 全部門 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ESCO事業による照明設備の合理化 ・ ESCO事業による動力インバーター制御導入 ・ 不要設備、モーター類の廃止による省エネ ・ 老朽化したコンプレッサーを廃止し、最新型省エネタイプのコンプレッサーの導入 |
| 3 | 都市ガス使用量削減活動 | 製造部抄紙課 製造部原料課 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ドライヤー熱風装置の高効率運転の研究 ・ 熱風装置バーナー変更による最低温度調節 ・ 蒸気配管保温 |
| 4 | 工業用水の節水活動 (排水量の削減) | 製造部全体 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 抄紙機のマシン下白水の処理水量アップ ・ 抄紙機シャワーノズルの定期的交換による水量変動の軽減 ・ 処理水の利用拡大 |
| 5 | スラッジの減量化活動 | 製造部全体 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 適性高分子凝集剤の選定による脱水率アップ ・ 損紙回収システムの導入 ・ 1次脱水機ローターリースクリーン増設による脱水率アップ |

6 公表の方法

- ・ インターネットホームページに記載
[<http://www.tsurumipaper.co.jp/>]